

1 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

(1)概要

国予算額 : 1,000億円、交付率1/2

対象事業 : 地方版総合戦略に位置づけられた先駆的な取組み

(2)令和4年度における事業実施内容

No.	事業名称 [計画期間]	事業概要	R4年度 実績額 (うち、交付金 1/2)	重要業績評価指標(KPI)				達成 度合
				KPIの名称	当初値	目標値 (R4)	実績値 (R4)	
1	Toyama Digital Transformation Project [R4~R8]	社会のデジタル化が進むなか、社会の変革を成長に転換しビヨンドコロナ時代における発展につなげるため、「データ活用の好循環」を軸としたDXを推進することで、地域課題の解決や県内経済の成長、県民の暮らしの向上を図り、県民の「真の幸せ(ウェルビーイング)」を追求する。	3億8,371万円	データ利活用による地域課題解決の取組み件数	0 件	10 件	9 件	B
				データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数	0 団体	60 団体	0.0% 団体	D
				県立大学でのDX関連教育を受けた社会人数	20 人	50 人	75 人	A
				県立大学におけるDXに関する相談受付件数	0 件	5 件	5 件	A
2	Startup connect project [R4~R6]	スタートアップ支援として、成功したベンチャーの創出が次のベンチャーの創出に繋がるエコシステムを富山に構築するため、県内外でのシード案件の発掘及び、資金調達、チーム編成等のスタートアップ特有の専門的な支援や市町村や民間団体が実施している起業家育成の取組などを支援する。	1億6,086万円	県内大学発ベンチャーの起業件数	3 件	5 件	8 件	A
				県創業支援センター利用者の創業件数	0 件	4 件	8 件	A
3	ポストコロナの海外展開事業 [R4~R6]	外国人大学生の受け入れ支援、東南アジア諸国への県産品、伝統工芸品の販路拡大を目的にPRイベントや商談会の実施、越境ECへの進出を支援する。国際観光分野においては、SNSツールによる発信やデジタルマーケティングを強化し、インバウンド需要の掘り起こしを行う。	1億3,806万円	富山県の貿易額(輸出入額合計)	3,094 億円	3,400 億円	6,884 億円	A
				外国人延べ宿泊者数	50,770 人	180,770 人	15,732 人	D
				富山県内の「専門的・技術的分野の在留資格を持つ外国人労働者数」	1,271 人	1,310 人	2,141 人	A
4	ウェルビーイングによる人口増加プロジェクト [R4~R6]	多様性や寛容性のある環境整備(ウェルビーイングの醸成)を目指して、富山県にいる若者の定着やUターン、移住定住を促進するほか、子育てしやすい環境整備として、フェムテック導入に取り組む企業支援、テレワークや時差出勤などの働き方の発展を目指す。	1億8,590万円	住みよさランキング(東洋経済新報社)の50位以内の市町村数	3 市	5 市	2 市	D
				男性の育児休業取得率	8 %	9 %	15.6 %	A
				県・市町村等の相談窓口を通じた移住者数(Uターン学生を除く)	764 人	784 人	892 人	A
5	開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト [R4~R6]	2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、グリーン・トランスフォーメーションに加え、サーキュラー・エコノミー(循環経済)の確立、それらを下支えする基盤となるデジタル・トランスフォーメーション(DX)を有機的に統合・推進し、脱炭素社会で生き残り選ばれる開疎な脱炭素コミュニティの形成を目指す。	1億1,642万円	エネルギー消費量の2013年度比の削減率	6.3 % (R2)	7.8 % (R3)	15.8 % (R3)	A
				県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画(区域施策編)の策定率	26.7 % (R2)	40 %	53.3 %	A
				一般廃棄物循環利用率	26 %	26.4 %	25.2 % (R3)	B
				北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数	889 人	919 人	946 人	A
6	北陸産業の新フロンティア開拓事業 [R3~R5]	医薬品・医療機器等、高機能新素材の両分野について、北陸地域における企業の集積を進め、地元の資源を活用して同分野の一大生産・加工地域を形成することを目指し、販路開拓能力や事業開発能力が高い富山県内の地域中核企業の育成と雇用促進を図る。	1億1,574万円	北陸三県における製造品出荷額(機械・金属類)	56,724 億円	60,224 億円	54,779 億円	B
				北陸三県における医薬品・医療機器生産額	10,277 億円	10,897 億円	8,513 億円	B
				北陸三県の就職マッチング件数	680 件	757 件	814 件	A

No.	事業名称 【計画期間】	事業概要	R4年度 実績額 (うち、交付金 1/2)	重要業績評価指標 (KPI)				達成 度合
				KPIの名称	当初値	目標値 (R4)	実績値 (R4)	
7	多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業 [R3~R5]	「選ばれ続ける観光地」としての魅力向上や、北陸三県をはじめ近隣県との連携を強化して、首都圏や関西圏等に効果的にプロモーションを展開する。 また、国際観光交流の推進のほか、富山県美術館周辺施設等の魅力向上に取り組む	1億8,854万円	観光消費額単価(宿泊・日帰り)	8,880 円/人回	9,360 円/人回	10,838 円/人回	A
				観光入込客数(実数)	11,039 千人	11,104 千人	13,926 千人	A
				日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数	15,000 人	30,000 人	14,992 人	D
				県立美術館等の年間来館者数	400,000 人	470,000 人	759,257 人	A
8	「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業 [R1~R5]	地域公共交通ネットワークや県内外との広域交通ネットワークの確保・充実、富山空港の機能充実	1億1733万円	鉄軌道・バスの利用率(県民1人当たりの年間利用回数)	46 回	48.15 回	39.7 回	B
				観光客の県内交通機関の満足度	51 %	59.8 %	57.2 %	B
				農林漁業等体験者数(県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した延べ人数)	68,199 人	75,697 人	30,816 (R3) 人	D
				富山空港国内・国際路線(チャーター便含む)の利用者数	573,120 人	590,725 人	251,509 人	D
9	ALLとやま農林水産業の成長産業化プロジェクト [R2~R6]	本県の豊かな農林水産物について、国内外市場での魅力を高め、雇用の拡大と収入の確保を図れるよう、ブランド化などによる成長産業化、国内市場、海外市場での販路拡大に取り組む	1億7488万円	農業産出額	651 億円	675 億円	545 (R3) 億円	B
				県産代表6魚種及び栽培漁業対象種の産出額(税抜)	39.69 億円	48.37 億円	35.06 億円 (R3)	B
				輸出に取り組む事業者数	40 社	49 社	61 社	A
				県産材素材生産量	97,000 m3	132,000 m3	118,000 m3	B
10	とやま未来創生人材育成事業 [R2~R6]	誰もが何歳からでも、何度でも学び直し、能力を高められるよう、身近な「学び直しの拠点」としてプラットフォーム整備、新たな時代に必要な能力を持つ人材のロールモデルの育成等	1億2,932万円	リカレント教育(学び直し)に取り組む県内社会人の割合	40.8 %	53.05 %	40.7 %	B
				県内大学・短大入学者の県内比率	46 %	50.5 %	46.5 %	B
				困難な課題に果敢に挑戦する県内小学生の割合	34 %	45.25 %	29.6 %	C
				地域社会で活動する高齢者等の活動件数(とやまシニアタレントバンク登録者・登録グループの活動件数)	5,670 件	5,820 件	1,117 件	D
11	持続可能な中山間地域振興プロジェクト [R2~R6]	地域が主体的に地域課題を解決できる持続可能な中山間地域の形成を目指し、直売所のPRや集落支援専門員の配置、話し合い事業等を実施	4,761万円	中山間地域における地域運営組織数	48 組織	54 組織	67 組織	A
				県・市町村相談窓口等を通じた移住者数(Uターン学生を除く)	764 人	784 人	892 人	A
				中山間地域におけるアクションプラン策定地域数	0 地域	24 地域	21 地域	B
12	「立山黒部」世界ブランド化推進事業 [R2~R6]	「立山黒部」の世界ブランド化を目指し、プロジェクトの検討や実現に必要な各種調査、基礎データの収集、2024年の黒部ルートの一一般開放に合わせた旅行商品の造成等を実施	1億5,555万円	立山黒部アルペンルートの観光入込数	883,000 人	952,000 人	480,000 人	C
				オンライン登山届コンパスの利用者数	10,632 人	14,500 人	17,565 人	A
				旅行者の満足度	74 %	77.76 %	75.2 %	B

No.	事業名称 [計画期間]	事業概要	R4年度 実績額 (うち、交付金 1/2)	重要業績評価指標 (KPI)				達成 度合
				KPIの名称	当初値	目標値 (R4)	実績値 (R4)	
13	プロフェッショナル人材確保事業 [R2~R4]	県内企業に対し、新事業や新販路開拓などの積極的な経営展開や、プロフェッショナル人材確保の支援を実施	4,338万円	企業経営者との経営課題等の相談件数	630 件	1,410 件	2,132 件	A
				企業に対する人材マッチング件数(副業・兼業含む)	268 件	583 件	822 件	A
				人材マッチング件数における金融機関からの紹介割合	39 %	50 %	30 %	C
14	富山で暮らそう! 移住支援事業、 移住者創業チャ レンジ応援事業 [R1~R4]	市町村と連携した移住支援金の支給、起業支援金の支給、マッチングサイトの運営等	9,408万円	本移住支援事業に基づく移住就業者数	0 人	620 人	22 人	D
				本移住支援事業に基づく移住起業業者数	0 人	20 人	23 人	A
				本起業支援事業に基づく起業業者数	0 人	40 人	38 人	B
				マッチングサイトに新たに掲載された求人数	0 件	4,000 件	1,752 件	D
				本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯員を帯同して移住した世帯数	0 世帯	34 世帯	31 世帯	B
15	女性未就業者等 活躍促進事業 [R1~R4]	「女性就業支援センター」において、女性の就業に関する相談をワンストップで受け付け、企業や未就業者に対して、雇用につながる業務の切り出し、新規就業の促進等を実施	1,411万円	本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)	0 人	1,010 人	1,321 人	A
				職場環境改善支援の結果、業務の切出しに成功し、新たな求人(雇用につながらない業務を含む)につながった企業数(延べ数)	0 社	1,230 社	1,191 社	B
				掘り起こしの実施により、企業との面談に至った子育て中の女性の数	0 人	155 人	406 人	A
合計			20億6,557万	※端数処理をしているため、合計額と内訳が一致していません。				

(3)KPIの達成度合について

A 目標値を達成	B 7割以上達成	C 5割以上達成	D 達成は5割未満
24指標 (59%)	16指標 (39%)	3指標 (7%)	9指標 (22%)

実績値の把握がないものは除く

2 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)

(1)概要

国予算額: 460億円(交付率1/2)  
 対象事業: 地方版総合戦略に基づく先駆的な施設整備事業

(2)平成29年度～令和4年度における事業実施内容

No	事業名称	事業概要	実績額	重要業績評価指標(KPI)				達成度合
				KPIの名称	当初値	目標値(R4)	実績値(R4)	
1	とやま介護ロボット・ICT普及センター(仮称)施設整備計画	介護職場の事務の効率化や介護職員の身体的負担軽減を図ることで職場定着・離職防止を図るため、介護ロボット・ICT等の導入を支援するための施設を整備 【令和5年4月供用開始】	3,014万円	施設における研修等を受講して介護事業所に就業する新規就業者数	0人(R3)	0人	R5供用開始のため効果の出現はR5から	-
				介護ロボット・ICT導入に関する相談件数	20件(R3)	20件		-
				施設における研修・講座受講者数	169人(R3)	169人		-
2	富山県栽培漁業センタークロダイ種苗増産・教育・観光型施設整備計画	既存の種苗生産施設も活用しながら、クロダイ種苗を効率的に増産できる施設を新設するとともに、地域の活性化を図るため、教育・産業観光にも対応した魚に親しむことのできる施設の整備 【令和5年4月供用開始】	10億5,777万円	県内におけるクロダイの産出額	32百万円(R2)	32百万円	22百万円	C
				教育での施設利用者数(のべ)	0人(R2)	1,100人	362人	D
				センター観光入込客数	0人(R2)	3,416人	R5供用開始のため効果の出現はR5から	-
3	創業支援施設・UIJターン住居整備計画	創業支援施設として、シェアオフィス、アトリエ、コワーキングスペースをはじめ、カフェや創作物を販売するチャレンジショップを整備するほか、多様なニーズ、ライフスタイルに対応できるUIJターン者等向けの住居を整備 【令和4年10月供用開始】	12億9,781万円	生産年齢人口1万人当たりにも占める新設事業所数(年平均新設事業所数)	45件(R1)	52.4件	110件(R3)	A
				富山県での移住に関する相談件数	2,678件(R1)	2780件	3180件	A
				県・市町村の相談窓口を通じた移住者数(Uターン学生を除く)	764人(R1)	784人	892人	A
				地域交流イベントの回数	0回(R1)	4回	4回	A
4	富山県農業機械研修センター(とやまスマート農業拠点)施設整備計画	意欲ある若い担い手や女性農業者を育成・確保し、生産性・収益性の高い農業を推進するため、ICTを活用したスマート農業導入に向けて、学び、習得できる研修の場を整備 【令和3年5月供用開始】	4億1,013万円	当該施設でスマート農業に関する研修等を受けて就農する新規就農者数	0人(R1)	20人	18人	B
				スマート農業に関する研修会・実演会参加者数(のべ)	100人(R1)	700人	965人	A
				農業用大型特殊自動車免許取得者数	141人(R1)	213人	216人	A
5	県内における環境・社会学分野の人材育成・供給及び産学官連携のための拠点整備計画	県立大学の環境工学実験棟において、産学官の連携により下水処理技術の研究開発を行い、行政コスト削減の実現や企業の技術力の向上を支援 【令和2年4月供用開始】	1億787万円	共同研究件数(資源循環分野)	1件(H30)	4件	3件	B
				地域連携センターの相談受付件数(資源循環分野)	1件(H30)	5件	10件	A
6	富岩水上ライン新艇就航と合わせた新たな待合所整備計画	富岩水上ラインの乗船場周辺に快適な待機スペースを整備するとともに、待合所内に情報掲示板(デジタルサイネージ)を整備することで待合所利用者に運航状況(ダイヤ)や観光情報を提供することで、利用者の利便性や快適性を向上 【令和2年4月供用開始】	2,651万円	富岩水上ライン乗船者数	60,000人(H30)	64,000人	53,437人	B
7	富山県農林水産総合技術センター食品研究所発酵食品開発ラボ(仮称)整備事業	富山県農林水産総合技術センター食品研究所に、酒造業等発酵食品製造業者の製品開発、新技術の導入支援に必要な試作加工設備、分析・評価機器を備えた研究開発拠点を整備 【令和2年4月供用開始】	1億9,814万円	新食品商品化数	0件(H30)	4件	4件	A
				酒類製造業出荷額	73億円(H30)	73.6億円	51.3億円(R2)	C
				施設利用・依頼試験・共同研究件数	3,053件(H30)	4,353件	2,238件	D

No	事業名称	事業概要	実績額	重要業績評価指標 (KPI)				達成度合
				KPIの名称	当初値	目標値 (R4)	実績値 (R4)	
8	富山県ものづくり研究開発センターオープンイノベーションハブ拠点整備計画	富山県ものづくり研究開発センターに、産学官の技術・人材交流による新たな製品等を生み出すための研究開発の拠点となる「オープンイノベーションハブ拠点」を整備【令和元年7月供用開始】	6億3,990万円	アルミ関連製品の出荷額	2,154億円 (H29)	2,326.3億円	2,176億円 (R3)	B
				オープンイノベーションハブを活用した産学官共同研究件数	0件 (H29)	16件	13件	B
				オープンイノベーションハブを活用した産学官共同研究による特許出願件数	0件 (H29)	11件	3件	D
9	富山県工業技術センター生活工学研究所ヘルスケア製品開発拠点(仮称)整備計画	富山県工業技術センター生活工学研究所に、機能的繊維素材や最先端技術・素材を用いた高機能衣料やウェアブルデバイス(健康管理機器)等の開発支援、製品評価・計測技術などに対応した「ヘルスケア製品開発拠点」を整備【令和元年7月供用開始】	7億6,683万円	ヘルスケア関連(繊維・電子デバイス等)製品出荷額の増加額	1,948億円 (H29)	2,165億円	1,623億円 (R3)	B
				拠点を活用した研究会活動や産学官共同研究等への参加企業・団体等の増加	0件 (H29)	50件	73件	A
				拠点を活用した事業化プロジェクトの取組みによる製品・サービス等の創出	0件 (H29)	5件	3件	C
10	富山県工業技術センター機械電子研究所先端デバイスマルチ信頼性試験室整備計画	富山県工業技術センター機械電子研究所に、県内に集積する電子デバイス関連産業の製品開発における信頼性評価を支援する拠点を整備【令和元年7月供用開始】	1億651万円	電子部品の製造品出荷額	3,327億円 (H28)	3,460億円	3,281億円 (R3)	B
				機械電子研究所利用件数	2,060件 (H28)	2,220件	1,407件	C
11	富山県総合デザインセンター(仮称)VR/AR検証施設整備計画	富山県総合デザインセンターに、VR(仮想現実)技術や、AR(拡張現実)技術を活用し、製品のデザイン・設計検討を行う「VR/AR検証施設」を整備【令和元年5月供用開始】	3億6,250万円	富山県の機械・金属の製造品出荷額	16,850億円 (H29)	18,311億円 (R3)	20,294億円 (R3)	A
				富山県総合デザインセンターの支援によって商品化された件数	165件 (H29)	227件	315件	A
12	薬用植物指導センター(高付加価値生薬生産拠点)整備計画	小規模事業者(生産農家)に対して栽培及び生薬生産技術を研修し、付加価値の高いシャクヤク等の薬用作物の生産を支援する薬用植物指導センターを整備【平成31年4月供用開始】	3億6,731万円	付加価値の高い薬用作物(シャクヤク)の苗供給数	0株 (H29)	5,700株	8,000株	A
				付加価値の高い薬用作物(シャクヤク)の新規参入事業者(生産農家)数	0戸 (H29)	4戸	11戸	A
13	ICT活用による「とやま農業未来カレッジ次世代施設園芸研修拠点」整備計画	とやま農業未来カレッジに、ICT活用による次世代施設園芸の研修拠点として、「環境制御型園芸ハウス」及び「研修管理棟」を整備【平成31年4月供用開始】	1億597万円	ICTを活用し新たな取組を実践する園芸農業者による園芸生産額の増加	0千円 (H29)	150,000千円	14,300千円	D
				ICTを活用する農業担い手数の増加	0人 (H29)	15人	4人	D
14	とやまの種もみ生産技術拠点整備計画	富山県農林水産総合技術センター農業研究所内に、民間や他県が育成した水稲品種の元種を隔離栽培し、生育特性の把握やほ場での均一性の向上、病害等のクリーニングを行う「とやまの種もみ生産技術拠点施設」を整備【平成31年4月供用開始】	1億4,338万円	県産種もみの県外への出荷額	16億円 (H29)	17億円	14.6億円	B
				種子生産性の向上による経営規模の拡大	1.7ha/戸 (H29)	2.1ha/戸	2.5ha/戸	A
				民間・県外育成品種のクリーニング品種数	0品種 (H29)	20品種	20品種	A
15	富山県における高級魚の栽培漁業技術開発に向けた新魚種「キジハタ・アカムツ」種苗生産拠点施設整備計画	富山県水産研究所に隣接する滑川栽培漁業センターに、高級魚であるキジハタやアカムツの種苗を生産できる施設を整備【令和元年9月供用開始】	3億8,689万円	キジハタ・アカムツ漁獲量	52,000kg (H29)	58,000kg	44,052kg	B
				キジハタ・アカムツ種苗放流数	0尾 (H29)	260,000尾	250,200尾	B
				新規漁業就業者数	35人 (H29)	40人	29人	B
16	富山県薬事研究所未来創薬開発支援分析センター(仮称)整備計画	富山県薬事総合研究開発センターに、研究バイオ医薬品等の高付加価値製品の開発に資する高度な機器を備えた「創薬研究開発センター」を整備【平成30年5月供用開始】	5億5,146万円	医薬品生産金額	6,163億円 (H28)	9,063億円	6,204億円 (R3)	C
				共同研究数	11件 (H28)	18件	13件	B
				施設利用数	841件 (H28)	980件	1595件	A

No	事業名称	事業概要	実績額	重要業績評価指標 (KPI)				達成度合
				KPIの名称	当初値	目標値 (R4)	実績値 (R4)	
17	富山県ものづくり研究開発センター製品機能評価拠点整備計画	富山県ものづくり研究開発センターに、品質評価・信頼性試験のための設備を擁する「製品機能評価ラボ」を新設し、県内企業の製造品の品質評価を支援【平成30年3月供用開始】	1億6,595万円	年間産学官共同研究件数	393件 (H28)	412件	418件	A
				富山県の製造品出荷額(金属、機械、電子部品)	13,977億円 (H28)	15,428億円	15,581億円 (R3)	A
				ものづくり研究開発センター利用件数	1,061件 (H28)	1,458件	1804件	A
18	世界と富山県を結ぶデザイン交流創造拠点整備計画	富山県総合デザインセンターに、県内外のデザイナー・企業等が入居し、共同開発や連携交流を図る「クリエイティブ・デザイン・ハブ」を新設【平成29年11月供用開始】	1億7,192万円	富山県総合デザインセンターの支援によって商品化された件数	81件 (H28)	134件 (R2)	315件	A
				「富山プロダクツ」選定商品数	252点 (H28)	350点 (R2)	387点	A
19	若者の県内定着と高度人材の育成・供給のための拠点整備計画	富山県立大学に看護学部を設置し、若い女性の流出防止と県内定着を促進するとともに、医療・工学分野の産官学連携を推進【平成31年4月供用開始】	14億5,325万円	看工連携による共同研究件数	29件 (H27)	46件	48件	A
				県内大学・短大入学者の県内比率	46.8% (H27)	50.8%	46.5%	B
				地域連携センターの相談受付件数	532件 (H27)	891件	343件	D

合計	83億5,024万円	※端数処理をしているため、合計額と内訳が一致していません。
----	------------	-------------------------------

(3)KPIの達成度合について

A 目標値を達成	B 7割以上達成	C 5割以上達成	D 達成は5割未満
22指標 (81%)	13指標 (48%)	5指標 (19%)	6指標 (22%)

実績値の把握がないものは除く

## 地方大学・地域産業創生交付金の検証・中間評価について

## 1 地方大学・地域産業創生交付金

## (1)概要

国予算額 : 97.5億円、交付率1/2、2/3

対象事業 : 地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進を図る取組み

## (2)令和4年度における事業実施内容

No.	事業名称	事業概要	R4年度実績額	重要業績評価指標(KPI)				達成度合
				KPIの名称	当初値	目標値(R4)	実績値(R4)	
1	地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業	県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成・確保を推進	7億5,139万円	医薬品産業の医薬品生産金額の増加額	6,540億円(H29)	7,300億円	5,986億円(※1)	D
				医薬品産業の雇用者数の増加数	11,073人(H29)	12,800人	12,019人(※2)	C
				サマースクール受講生の地元就職	—	6人	3人	C
				県内大学卒業生の地元就職数の増加 H30(75名)からの増加数	—	34人	2人	D
				西洋医薬と伝統医薬学の統合分野を含む、組織対組織の連携協力協定等の締結数の増加(富山大学)	—	11件	13件	A
				国際学会・シンポジウムの開催数(県立大学) H30からの累計	0回	2回	2回	A
				県内企業との共同研究数(富山大学)	10件	14件	12件	B
				県内企業との共同研究数(県立大学)	3件	7件	10件	A

## (3)KPIの達成度合について

A	B	C	D
目標値を達成	7割以上達成	5割以上達成	達成は5割未満
3指標(43%)	1指標(14%)	2指標(29%)	2指標(29%)

- ・計画期間は平成30年10月30日～令和5年3月31日、国交付金による支援は令和4年度で終了。
- ・引続き県内産学官によるコンソーシアムを推進し、早期事業化に向けた医薬品の研究開発の推進、「くすりの富山」を支える専門人材育成の育成・確保に取り組む。
- ・前半5年間の事業の進捗、目標値の実現状況、今後の方針等については次頁以降に記載。

※1 医薬品生産金額：令和4年1月から令和4年12月までの月報を集計した暫定値  
(令和5年末に確定。確定値で内閣府へ報告。)

※2 2022年経済構造実態調査 製造業事業所調査より(総務省・経産省、R5.7.31公表)

# 事業の進捗状況

計画期間前半（H30～R4年度）は、県内産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品分野における「創薬」と「製薬」という2つの「つくる」の研究開発を推進するとともに、「くすりの富山」を支える人材育成・確保のため、学生向け・社会人向けの実習や研修会等を行ってきた。

## 【これまでの実績等】

- 本事業で構築した産学官共創プラットフォームにより医薬品分野の研究開発を推進している。医薬品など試料中の生菌の有無をわずか1日で調べられる「迅速無菌検査法」を開発（標準的な無菌検査は14日）したほか、医薬品の製造工程で用いる触媒として、植物由来の環境にやさしい有機分子触媒の開発に世界で初めて成功するなど、事業化に向けて着実に成果を挙げている。
- 全国の学生を対象としたサマースクールでは、医薬品の製剤や品質管理・保障など製薬企業目線での講義や先輩社員との交流など、「くすりの富山」ならではの魅力的なカリキュラムを提供し、受講者8名が県内製薬企業等に就職した（令和4年4月）。また、大学院生を対象にしたバイオ医薬品専門人材育成においても、受講者2名が県内製薬企業等に就職した（令和4年4月）。
- 本事業において富山大の臨床研究管理センターの体制を充実し、令和3年度から漢方薬の新効能の医師主導治験を開始した。また、富山県立大では、令和3年度に大学院修士課程（博士前期）の生物工学専攻を「生物・医薬品工学専攻」に改組・定員増を行い、県内医薬品産業界の人材育成ニーズに対応している。

## 数値目標の実現状況 <KPI達成状況> ①

KPI	上段 目標値 下段 実績値	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		[計画開始前]	[1年目]	[2年目]	[3年目]	[4年目]	[5年目]	[6年目]	[7年目]	[8年目]	[9年目]	[10年目]
医薬品産業の医薬品生産金額の増加額（単位：億円）		6,448	6,700	7,000	7,300	7,300	7,400	7,800	8,200	8,600	9,000	10,000
		6,540	6,246	6,937	6,609	6,204	5,986 (未確定)	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		2018年の薬価制度の抜本改革、2021年度からの薬価の毎年改定による引下げなど、医薬品産業全体での厳しい状況が引続き見込まれる。そのような中、本事業での成果展開等により、現計画の目標値を堅持する。										
医薬品産業の雇用者数の増加数（単位：人）		11,073	11,400	11,800	12,200	12,800	12,800	13,400	14,000	14,600	15,200	15,800
		11,073	10,999	11,348	11,691	11,472	12,019	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		2018年の薬価制度の抜本改革、2021年度からの薬価の毎年改定による引下げなど、医薬品産業全体での厳しい状況が引続き見込まれる。そのような中、本事業での成果展開等により、現計画の目標値を堅持する。 ※雇用者数は医薬品生産金額の増加（伸び率）に連動するものとして見込む										
サマースクール受講生の地元就職（単位：人）		-	-	3	3	6	6	6	6	6	6	6
		-	-	3	3	8	3	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		受講生のうち県内製薬企業に8人が就職（2022.4月就職）、2023年4月には3人が就職している。2023年度からはネクスト・ファーマ・エンジニア養成プログラムによる人材育成を実施予定。										
県内大学卒業生の地元就職数の増加※（単位：人） ※計画設定時(H30年75名)が基準		-	-	-	-	34	34	34	34	34	34	34
		-	-	-	-	28	2	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		県外製薬企業の採用活動の動きが県内企業より早いため県内への就職が減ったことや、富大医学部の県内就職(医療系)が減ったことも要因。ネクスト・ファーマ・エンジニア養成プログラムにおいて、医薬品創製の知識を持つ人材確保の取組みにより、県内製薬企業への就職への増加につなげる。										

## 数値目標の実現状況 <KPI達成状況> ②

KPI	上段 目標値 下段 実績値	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		[計画開始前]	[1年目]	[2年目]	[3年目]	[4年目]	[5年目]	[6年目]	[7年目]	[8年目]	[9年目]	[10年目]
[富山大学]西洋医学と伝統医学の統合分野を含む、組織体組織の連携協力協定等の締結数 (単位：件、累計)		-	4	5	7	9	11	12	13	15	17	19
		-	4	6	7	10	13	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		計画どおりの進捗である。										
[富山県立大学] 国際学会・シンポジウムの開催数 (単位：回、累計)		0	0	1	1	1	2	3	4	6	8	10
		0	0	1	1	1	2	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		2020年度以降はコロナ禍により国際学会やシンポジウムの開催が困難となった。										
[富山大学] 県内企業との共同研究数(医薬系学部学科対象) (単位：件)		10	10	11	12	13	14	14	14	15	16	17
		10	10	11	8	9	12	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		学内のURAや学術研究・産学連携本部等を活用しながら、企業との共同研究の増加につなげる。										
[富山県立大学] 県内企業との共同研究数(医薬系学部学科対象) (単位：件)		3	3	4	5	6	7	8	8	9	9	10
		3	2	5	4	8	10	-	-	-	-	-
達成状況に対する自己評価		計画どおりの進捗であり、引続き県内企業との共同研究の増加につなげる。										

## 今後の方針等

### 研究開発事業

- ①DXによる競争力の高い医薬品創製拠点を目指す取組み
  - ・富山大学附属病院臨床研究管理センターにおける臨床試験のDX化
  - ・富山県立大学DX教育研究センターを活用した医薬品生産の技術革新の取組み
- ②新たにアカデミア発シーズを発掘し、事業化を支援する取組みを開始
- ③継続研究テーマの実用化に向けた支援

### 人材育成事業

- ①ネクスト・ファーム・エンジニア養成プログラムの新設
 

県産業連合会（県内製薬企業）と大学が協力連携し、大学等のリソースを活用し、学生及び社会人を対象として必要な人材育成に取り組む
- ②バイオ医薬品人材育成
 

今後の成長分野であるバイオ医薬品等の製造・品質管理を支える人材育成・技術力向上を図り、県内製薬企業にバイオ医薬品の知識を持つ学生の輩出を目指す。

### 産学官連携の推進

- 産学官が緊密に連携し、強みを活かして医薬品分野の研究開発や人材育成に取り組む体制を整備（コンソ事務局の運営管理、会議・委員会の開催、大学・企業のマッチング、特許出願、情報発信等）